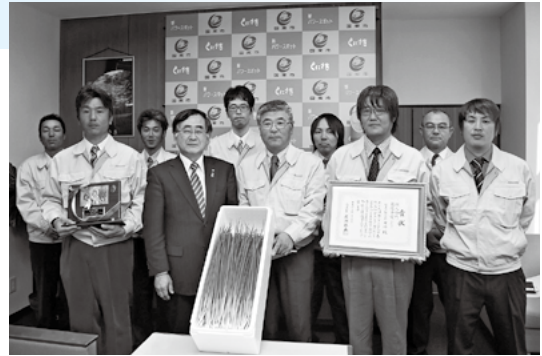


## 園芸関係表彰式

園芸関係の品目ごとに優秀な生産者を表彰する「平成24年度園芸関係表彰式」が1月30日（水）、大分市で行われ市内から3人の方が表彰されました。

第22回野菜経営コンクールでは、株式会社安部（猪原太代表取締役・国東町大恩寺）が新人部門の最優秀賞（県知事賞）を受賞、第51回花き展では、小縣一興さん（国東町北江）のバラが金賞を受賞、第14回なし研究会果実品評会では、辰口広樹さん（安岐町山浦）が最優秀賞を受賞しました。

野菜経営コンクールで最優秀賞を受賞した（株）安部は、有限会社安部組（安部徹代表取締役）が設立した農業生産法人で、平成22年に国東町北江で小ねぎ栽培を開始しました。同社は、現場担当者の絶え間ない努力により、徹底した栽培管理を行い、大分味一ねぎ部会の中でもトップクラスの高単収を実現しています。また、部会活動等にも積極的に取り組んでおり、地域の中核的生産者として活躍されていることが高く評価され今回の受賞となりました。



3月25日（月）、（株）安部の皆さんが受賞の報告に、市役所を訪れました

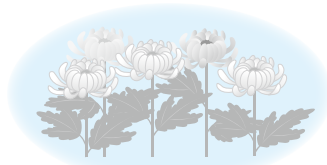
## 菊ハウスで初収穫

武蔵町手野の株式会社花未来（小俣光典代表取締役）で2月26日（火）、県や市、流通関係者など約40人が出席して、輪ギクの初収穫を祝う「収穫祭・自動選花機始動式」が行われました。



国・県・市の補助金を活用し、昨年10月に完成した鉄骨ハウスで、11月から栽培を始めたキクが最初の収穫を迎えたものです。同社は77アールのハウスで、年間を通じた出荷体制を確立することで年間86万4千本の収穫を見込んでいます。

式では、小俣社長が「耐候性に優れたハウスの導入で、作業の効率化と品質の均一化、さらには後継者の育成と産地の維持を図っていきたいと思います」とあいさつしました。



## 国東町小原に食品加工工場

東京都品川区に本社を置き、インテリア・デザイン家電、生活雑貨の生産販売、飲食店の経営等を行う株式会社セラヴィ（花畑祐二代表取締役）が、国東町小原に食品加工工場を建設することになりました。

同社は、より安心して提供できる食材を確保しようと検討する中で、原料の調達方法や配送の面などから、同地区に魚のすり身や農産物の加工を行う工場建設を決定し、現地法人ハナマル食品株式会社（山室稔取締役）を設立しました。建設予定の工場は10月に完成し、11月に操業開始の予定です。従業員は地元を中心に17人を雇用し、将来は約35人まで増やしていく計画です。

3月15日（金）、県庁で立地協定調印式が行われ、広瀬勝貞知事と清國仁士市議会議長の立会いのもと、花畑代表取締役と三河明史市長が立地協定書に調印しました。



（左から）山室取締役、花畑代表取締役、広瀬知事、三河市長、清國議長